

令和3年度 生駒市障がい者地域自立支援協議会 会議録

時間：令和3年8月31日（火）

午後1時30分から

場所：福祉センター フレンドルーム

1. 開会

事務局：令和3年度、生駒市障がい者地域自立支援協議会を開催させていただきます。

（あいさつ）

（会議の公開について説明、傍聴者の確認）

（会議の録音の許可のお願い）

（手話通訳者・要約筆記者の入室許可のお願い）

（発言の際の注意事項について説明）

（委員交代の案内、出席者の確認）

（資料の確認）

（福祉健康部長あいさつ）

2. 案件

事務局：議事の進行は梅川会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（1）生駒市の障がい福祉の動向について

梅川会長：それでは案件1の資料2「生駒市の障がい福祉の動向について」、資料3「令和元2年度生活支援センター概況報告」、資料4「令和2年度担当者会活動報告」、資料5「令和2年度専門部会権利擁護部会活動報告」、資料6「令和2年度専門部会こども支援部会活動報告」、資料7「令和2年度専門部会くらし部会活動報告」を事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料2～7について事務局より説明）

梅川会長：ありがとうございました。活動等にコロナ感染予防のためzoomの活用がされ、集まるのが会議が難しいとのことで、早く収束して通常の状態に戻ればと思います。ただ今の報告について何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

（2）第5期生駒市障がい者福祉計画の評価について

梅川会長：次の案件に移ります。資料8「第5期生駒市障がい者福祉計画事業評価シート」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料8について事務局より説明）

梅川会長：ありがとうございました。ただ今の説明に対して、何かご意見やご質問はありますか。

古川委員：P4 要約筆記者の派遣について、難聴者が制度を知らないことが多いです。協会に長くいる自分自身も制度をよくわかっていない部分があります。過去に会員が結婚式での利用・派遣を申し込んだところ、私的な行事であるとして断られたことがありました。合理的配慮も踏まえ、私的な行事でも認められるよう、また公的と私的の線引きもよく分からないので教えてほしいです。

事務局：ご質問ありがとうございます。派遣制度については、転入時等に、あゆみの冊子を配布するなどして、制度の説明をしているところです。

プライベートでの派遣については、福祉センターが窓口となっており、個々にご相談いただいています。市が認めているものは主に、医療機関の受診、学校の行事、労働の相談、公的機関への相談等で、それら以外のケースは個々に判断をさせてもらっています。完全に余暇となるものは性質上認められませんが、できるだけご意向に沿えるように考えております。基準としては、地域生活支援事業実施要綱に要件等を定めています。

梅川会長：あゆみの冊子は、皆持っているのでしょうか。

事務局：あゆみは、HPでも公表されており、窓口に来庁時にも説明しています。古川委員がご質問の、この場合は丸、この場合はバツといった表は、現在は作成しておりません。

古川委員：ありがとうございます。一つ私的なケースとして同窓会は認められるのでしょうか。

事務局：同窓会については、現在お断りをさせていただいております。結婚式、お葬式については、個別具体的にご相談を受けまして、親族の結婚式であれば認め、遠縁のお友達との集まりということであれば公的サービスという性質上お断りさせていただいております。

古川委員：他の市町村であれば、趣味、同窓会、結婚式などで住んでいる地域から離れて広域にわたる場合でも認められていることがあります。生駒市も聴覚障害者が制度を利用したいときには、多分いろんな事情があると思いますが、ちゃんとした情報保障の下きちんと理解したいと思えば、私的な用事であっても認められてもいいのではと個人的には思うので、今後同様のケースがあった場合には検討いただきたいです。

事務局：ご意見として賜ります。ただ、あまりにも範囲を広げてしまうと、要約筆記者の負担も限界があり、その点も踏まえ拡充できるかどうかについて検討してまいりたいと思います。

福祉健康部次長：先ほどの説明の補足で、私的な用事に関しては、いずれ時代を経ていけば、障がいがある方についても、自由に思うとおりの人生を歩んでいただきたいという趣旨からいえば、制限は外していく方向であるべきだと思います。ただ、さきほど事務局から申し上げましたとおり、サービスの担い手である手話通訳者・要約筆記者の数の確保・育成も考えなければならず、バランスをとりながら検討していきたいと考えております。

山本委員：古川さんが指摘した問題に関して、私も同様に聴覚障害者として意見をいいますと、難聴者・聴覚障害者については、意思疎通支援が必要で、通訳者の派遣はとても大切だと思っています。例えば、何か行事に参加するときに、企業・学校、個人懇談などの大切な場面で派遣をしていただいているのですが、要件に合わないものはいくつか断られるケースもあります。例えば、同窓会はそのひとつで、仕方ないと思うのですが、次長もおっしゃっていましたが、昔と今とでは状況がかなり変わっています。例えば、今若い人達はスマホ・SNSで様々な情報を随時得ています。昔では想像できなかったです。私の職場の周りの人は、聞こえる方ばかりです。当然、会議や相談の内容は私には聞こえません。内容を理解したいと思いますが、会社勤務だから派遣できませんと言われます。会社は利益を求める組織なので、その場所に公的な資金、市民の税金を入れることはできないと言われ、仕方がないと思っていますが、要綱を変更して、直してほしいと思っています。また、市立病院で働くろうの女性は、職場に手話通訳者を派遣してほしいと両親や市に頼みましたが、同様の理由で断られました。職場の会議・研修会等に彼女が参加する際に、派遣ができるような方法がないかと私は考えています。奈良県との調整も必要でしょうが、将来彼女がスムーズに職場で働けるような環境整備が進めばと思いますが、何か良い考え等はありませんでしょうか。

事務局：お二人の委員から頂きました意見、できることできないことを整理して考えていきたいですが、逆にお尋ねしたいのですが、山本さんの会社で配慮をお願いしてもらうということはできないのでしょうか。

山本委員：私の会社へは何度もお願いしていますが断られています。なぜなら、社内に部外者を入れることを認めていないからとのことでした。会社には守秘義務があり、また社内で手話に関する勉強会などはあるが、手話通訳者レベルには達していないので、難しい状況です。

事務局：どこまで認めることができるのか、時間はかかると思いますがご意見も聞きながら検討していきたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

梅川会長：ありがとうございます。すぐ結論はでないと思いますが、そういう方向で検討をお願いするということにとどまるということですね。

辻村委員：古川委員、山本委員のお話を聞いて、なるほどそういうことがあるのかと改めて知りましたが、確かにプライベートであっても、当事者にとっては結婚式・同窓会などは大変重要なイベントですから、その際にコミュニケーションがスムーズにいくように制度が充実していけば嬉しいことですし、当然そういう配慮がされるべきだろうなとお考えになるのは最もだと思います。ぜひ今後具体的な取組をご検討いただけたらいいと思います。あえて補足させていただきました。

梅川会長：ありがとうございました。また検討していただくということで本件はこれで終わりにしたいと思います。

（３）令和２年度生駒市福祉センター指定管理事業の評価について

梅川会長：次の案件に移ります。資料９「令和２年度生駒市福祉センター指定管理事業実施報告書」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料９について事務局より説明）

梅川会長：ありがとうございました。ただ今の報告に関して、何かご意見がありますか。

古川委員：２点確認したいと思います。一つ目はＰ４に「要約筆記奉仕員派遣事業」とありますが、令和２年度からは要約筆記者として名称変更されていると思います。「奉仕員」というのはなくなりましたので、その名称を使うことはないと思います。もう１つはＰ６（ウ）権利擁護支援センターの職員とは、福祉センターの職員のことでしょうか。

事務局：１つ目のご質問のＰ４「要約筆記奉仕員派遣事業」の箇所は誤りですので修正させていただきます。失礼いたしました。２つ目のご質問のＰ６（ウ）権利擁護支援センターは、当センター１階の一番奥に部屋があり、センター内は全部で５名の職員がおります。そのうち社会福祉士の資格を持っているのが３名です。その３名が権利擁護の相談を受付しています。残りの２名、所長の辰己ともう１名の職員は、Ｐ７（２）福祉サービス利用援助の担当をしております。

梅川会長：ありがとうございました。ほかにご質問等ございますか。

（４）令和３年度生駒市の障がい者福祉の取り組みについて

梅川会長：次の案件に移ります。資料１０「令和３年度生駒市の障がい者福祉の取り組みについて」、事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料１０について事務局より説明）

梅川会長：ありがとうございました。ただ今の説明に関して、何かご質問、ご意見はございますか。

それでは全てのことに關してのご質問、ご意見はございますか。

3. その他

梅川会長：事務局からその他連絡事項はありますか。

4. 閉会

事務局：梅川会長、どうもありがとうございました。

今年度、開催を予定している本協議会につきましては、今回の1回になります。

その他、事務局から連絡事項等はございません。

それでは、以上をもちまして、「令和3年度 生駒市障がい者地域自立支援協議会」を閉会させていただきます。長時間にわたり、どうもありがとうございました。